

英文法の全体像

英文法は、全部で 5 段階からなっています。

◆ **第1段階**は→ ○+□+ピリオド

- ・それが意味するのは→「ワンセンテンスに主語と動詞が一つずつ」

◆ **第2段階**は→ □の操作

- ・□とは→動詞のこと
- ・(□の操作は)4種類あって→「文の種類・時制・助動詞・態」

◆ **第3段階**は→ 準動詞(△▽)

- ・準動詞とは→ 動詞に似ているが、動詞ではなく、「名詞・形容詞・副詞」のいずれかの役割を担うもの
- ・(準動詞には)4種類あって→「未来分詞(to+動詞の原形)、現在分詞(-ing)、過去分詞(-ed)、事実分詞(何もつけない)」
- ・なぜ4種類あるかという→「時制が違う」から
- ・未来分詞には(何を付けるか)→ to(+動詞の原形)、現在分詞→ -ing、過去分詞→ -ed、事実分詞→ 何もつけない
- ・準動詞はもともと動詞なので→ △動作主をともなう
- ・それ(△動作主)が省略される時があって→ 準動詞の△動作主とその文の主語が一致している時

◆ **第4段階**は→ 複数の○□の接続

- ・(接続詞には)2種類あって→「等位接続詞・従属接続詞」
- ・数が少ない方が→ 等位接続詞
- ・(等位接続詞には)7種類あって→ “and, or, nor, but, yet, so, for”
- ・(従属接続詞が導く)従属節もまた→「名詞・形容詞・副詞」になる

◆ **第5段階**はより高度な表現で→「省略・挿入・倒置・反語・仮定法」

- ◆ ひなみ塾は、自分でゴールを決めて、仲間とともに楽しく工夫しながらやりぬき、感動を生む人になる場所です。